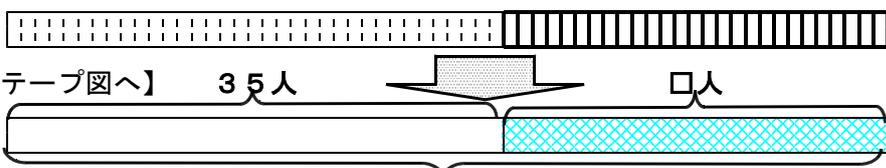
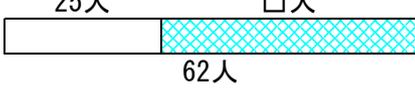


IV 本時の学習

【目標】

「関係表現は加法の形だが、計算は減法の形になる問題」をテープ図などに表現することで、式や問題文とのつながりを見出し演算決定することができる。

子どもの学習活動	教師のかかわりと評価
<p>【前時までに…】 ブロックなどの具体物や図に表現することで、問題場面を図に表現することに取り組んできている。前時では、「関係表現は減法の形だが、計算は加法で求める」問題場面について考えてきている。</p> <p>昨日の問題と少し違うな…</p> <p>地下鉄に35人乗っています。途中で何人か乗ってきたので、全部で62人になりました。途中で乗ってきた人は何人でしょう。</p> <p>式はどうなるのかな 昨日より数が多いな</p> <p>$35 + \square = 62$ $35 + 27 = 62$ $62 - 35 = 27$</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題文にない数字は使ったらいけないよ。(興水ルール) 昨日はひき算だと思ったらたし算だったから今日は… 今日の問題も図に表したらできるのかな… <p>式にするとたし算なのかな、ひき算なのかな</p> <p>【問題文から考えると…】 ・「全部で」とあるからたし算になる。 ・求めるのは全部の人数ではないな。</p> <p>【分からないところは…】 ・何人乗ったのかが分からないから ・何人のったのかが□になるね。</p> <p>【ブロックの図で考えると…】 ・ブロックの数が多くて大変だな…</p> <p>【テープ図へ】</p>  <p>【言葉の式で表すと…】 全体－最初に乗っていた人 ＝途中から乗った人 がわかるよ。</p> <p>テープ図に表現することでつながる式の意味</p> <p>全体から35を引くとどれだけ乗ってきたのかわかるね。</p> <p>図に表すとひき算で答えが出せることが分かるね</p> <p>【評価問題】</p> <p>もしバスに最初25人乗っていて、途中で何人か乗ってきて62人になったなら途中で乗ってきた人は何人でしょう。またどのような図になるでしょう。</p> <p>25人 □人</p> 	<p>本校の特徴である公共交通機関を利用している児童の日常場面を実際に演じてみることで問題場面を把握させる。</p> <p>自分の立てた式がどの式と同じなのかネームカードを貼らせることで、自分の立場を明らかにさせる。</p> <p>前時までを想起させながら、演算決定の場面に焦点化させる。</p> <p>ブロックなどの具体物から抽象的なテープ図へと変換を図る。</p> <p>言葉の式やテープ図などを関連付ける話し合いを通して、式の意味や文章とのつながりを実感させる。</p> <p>【評】テープ図を用いて問題文とのつながりを明らかにし、解くために必要な演算を決定することができる。</p> <p>他の問題に取り組ませることで、本時の学習を生かして考えさせる。</p>